

タウンミーティング記録 想いをこめて 未来につなぐ

日 時 令和 8 年 9 月 6 日(日) 午後 2 時～3 時 30 分
場 所 南台 2 丁目集会所（南台 2 丁目自治会）
参加者 30 人



主な意見等

参加者 近所にカーブミラー（161 番）がある見通しの悪い T 字路があります。そこは交通量が多く、事故や他の車と鉢合わせすることがよくあるので、安全対策や注意喚起などの検討をしてほしい。

町内会の高齢化が話題となっており、町内会員を増やすための努力をしているが限界があります。今後、町内会を維持するために全国規模での成功事例等のノウハウがあれば、情報提供の検討をしていただきたい。また、町内会というシステムを一新する仕組みがあれば、新しい今後のやり方を考えていかなければならないと考えています。

市 長 市内に狭い道路は多い状況であり、指摘していただいた場所を確認して、何か方策がとれないかを検討します。

町内会の高齢化は市内全体で抱えている問題であり、町内会に入るメリットとして、万が一に備えるという効果や子どもの見守りなどを市民に伝えていく必要があるのではないかと考えています。また、先進的な他市の事例を担当職員と情報収集しながら、効果的なものがあれば、提供していきたい。

参加者 防犯カメラについて、プライバシーの問題はあるが、住宅街への設置を検討してもらえないか。また、市内における住宅街での防犯カメラの設置割合はどの程度か教えてもらいたいです。

市 長 個人のご家庭で設置しているケースもあると思いますが、住宅街で公的な防犯カメラの設置は、ほぼないのではないかと思います。商店街管理での防犯カメラの設置や防犯カメラが内蔵された自動販売機などの設置も実施しています。

防犯カメラの増設するための一つの方策としては、市民の皆さんのご自宅での設置に対する補助や自治組織への補助などで防犯カメラの数を増やして、全体として防犯効果が得られるように進めていくことも構想の一つとして考えております。

参加者 近年、自転車の盗難被害や不審者等の報告が増加しています。しかし、1台も防犯カメラがない状況であるため、住宅街の中でも危険な場所については、少なくともカメラを1台は積極的に設置していただきたい。

市 長 ご要望として承りたいと思います。

参加者 江川緑道を運動公園方面へ歩いていくと、暗渠部分の道で、露出した石や剥がれたり欠けたりしている個所もあり、転んだときにケガをする危険があり非常に怖く、歩きづらいです。歩きやすいようにできないか。

市 長 整備当初から老朽化が進んでいる可能性もありますので、担当職員に現場の確認をするように指示します。すぐに対応できないかもしれないが、どのような対応ができるかを検討していきたい。大規模修繕を実施する場合、費用が莫大になる可能性があるので、将来に負担をかけない形で修繕が可能かどうか確認していきたい。

参加者 選挙の投票所について、丸山集会所から上福岡4丁目集会所に変更になり、車で行くと道路が狭い上に車を停める場所がなく、不便になった。

市 長 投票区内の有権者数や投票所の数をもとに見直しを実施したものになります。いただいたご意見は選挙管理委員会に伝えます。

参加者 4月から自転車の交通違反に対して交通反則通告制度(青切符制度)が始まりました。交通量が多く車が頻繁に行き交う道では、危険を避けるために歩道に入ることもあります。自転車が通行可能な場所がわかりにくかったりするので、明確にしていきたい。

市 長 自転車は原則車道通行ですが、13歳未満の子どもと70歳以上の高齢者は歩道を通行できるようになっています。道路標識が小さくて見逃すことやわかりづらい場合もありますが、安全確保へのご理解をお願い

したい。

参加者 線状降水帯により集中豪雨が発生しており、他県で避難所に指定された体育館等でエアコンがなく使用することができなかった事例がありました。ふじみ野市の避難所においては、エアコンの設置率は100%となっているのか。

また、地球温暖化により従来の天候から急激に変化していることに加え、南台2丁目は標高が市内で比較的低い地域であるため、防災の備えを十分なものにしていただきたい。

市長 小・中学校の体育館については、エアコン設置がほとんど設置されています。

全国的にも防災の備えは不足していると感じており、エアコンなど環境整備等のできる限りの準備はしています。指定避難所に区域内の人が全員入れるかというとはなく、車中泊している人もいらっしゃいます。災害時は必ずしも避難所へ行くのではなく、身近なところで命を守る手立てを講じることが基本となりますので、大雨で氾濫していると思われる場合などは、避難所に向かうのではなく、自宅での垂直避難などをお願いしたい。

参加者 市役所の窓口において同じ内容の書類を何回も書かないといけないことについて、どうにかならないか。

市民が使用できる申請システムがあるのにも関わらず、このことを知らない市民が多い。わかりやすく周知できるものはないか。

市長 市役所の大きな課題だと認識しています。現在、ワンストップで対応可能な「書かない窓口」を設置しています。また、取り組んでいるものとして、家族に不幸があった場合に様々な届出がワンストップで受付が可能となるサービスの準備をしているところです。

介護保険等の通知に大きな文字で示したり、ご高齢の方が集まる場でアピールしたり、お知らせの手段も大事かと考えておりますので、そのような取り組みを進めたいと思っています。

参加者 危機管理防災課に「感震ブレーカーは補助金の対象になるか」について問い合わせをしましたが、回答は「対象になっていない」とのことでした。感震ブレーカーの設置推進のための補助を検討していただきたい。

南台で火災があり、火災の被害者は何も持ち出さずに避難したこともあり、スピーディーな支援をお願いしたい。本人の話では、市から

の支援は十分ではないとの話があった。

市 長 ご自宅内のものについては、自分の財産は自分で守るという原則論があります。感震ブレーカーは、通電火災防止の有効な手段であるため、市の財政状況との兼ね合いもあるが、他自治体の対応方法も参考に検討したいと思います。

火災が発生した際は、必ず福祉部局の職員が現場に出ています。現場は混乱しているということもありますが、被害にあわれた方のご要望に応じて、最大限きめ細かく動けるように取り組んでいきたいと思っています。